

プラスチック成形加工学会 東海支部 設立のご連絡と 入会のご案内 (ホームページ版)

拝啓 時下益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、6月22日に開催された本学会の平成23年度通常総会において、東海支部の設立が承認されましたのでご連絡申し上げます。本学会にとって、東海支部は、関西支部、東北・北海道支部に続く3番目の支部となります。ものづくりの盛んな東海地区での支部活動切望の折、2ページ目にあります設立趣旨のもと、60名を越える発起人(3ページ目ご参照)からの提案に基づいての設立です。9月21日(水)に開催予定の設立総会以降は、地域に根ざした学術・技術交流とその発展への貢献、学問に裏付けられた原理原則に基づいた研究開発・製造ができる人材育成など、幅広い活動を予定しております。

初年度活動計画案(5ページ目ご参照)のように、実践・実務・現場を重視した講演会・見学会・講習会を予定しており、支部会員の方はきわめて安価にご参加いただけます。皆様方におかれましては、この機会にぜひ、東海支部に入会いただきますようご案内申し上げます。

◆東海支部へ入会出来る方 (学会 支部通則第2条、第3条)

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県に居住しあるいは勤務する本学会員

(本学会員とは、正会員・学生会員・賛助会員を指す。

賛助会員会社所属の方も入会可能。その際、賛助会員としての登録住所にはよらずに入会希望の方の居住しあるいは勤務する住所とする。これまでの学会慣例)

◆入会申し込み方法

エクセルファイルをダウンロードの上、

「入会申込書」「設立総会等の出欠アンケート」を入力ください。

入力したファイルは、電子メールに添付の上、下記の学会事務局宛に送付ください。

◆年会費

- ・年会費 1,000円/人 (年度途中申し込みの場合も同額とさせていただきます)
- (入会金は不要)

- ・年会費支払い方法に関するお願い

設立総会参加の方は会場入口でお支払いください。

不参加の方には口座振込み、あるいは現金書留での送付方法に関して、

後日電子メールでご案内します。(その際、手数料のご負担をお願いします)

入会等に関するお問い合わせ先: 東海支部事務局(岐阜大学工学部応用化学科) 木村浩
TEL/FAX:058-293-2622 kimurah@gifu-u.ac.jp

東海支部サブ事務局(名城大学理工学部材料機能工学科) 榎本和城
TEL:052-838-2154 e-mail:enomotok@meijo-u.ac.jp

ご注意: 上記アドレスの@はスパムメール対策上全角となっておりますので、半角に変更の上、ご利用ください。

プラスチック成形加工学会 東海支部 設立趣旨

プラスチック成形加工学会は、産学官の連携が強固であり、また、その連携を大事にしているユニークな学会です。このユニークさは、年次大会や成形加工シンポジウムにおける学術発表で「産」「学官」それぞれからの発表がおおむね半数ずつであること、年次大会の「企画展示」における実際の製品やその製造設備・型などの展示、あるいは、「青木固賞」の現場見学会というような活動に象徴されています。このような活動を通じて日本のものづくりに貢献するとともに、ものづくりの現場と学術・研究を結びつけて、学術・研究を深めています。

この東海地区は、日本の中でもとりわけものづくりの盛んな地域で、古くは岐阜県・愛知県での窯業、近年は、三重県四日市コンビナートにおける合成樹脂製造、岐阜県・愛知県での金型産業、静岡県・愛知県における射出成形機製造、さらに、支部の対象となる静岡県・愛知県・岐阜県・三重県のいずれにおいても、二輪・四輪の輸送機器並びにその部品製造が盛んです。

昨今の日本の経済情勢が示すように、その国際競争力の低下、それに伴いものづくり力の低下が懸念されているところですが、資源のとぼしい日本においては、製造業で確実に付加価値を確保する必要があります。このために日々の製造原価を下げ、創造的付加価値につなげるには、材料・設備・型・工法の研究開発の推進が望まれています。このような新技術開発には、科学的知識が必要であることから産官学が強く連携することが重要となります。東海支部として人が集い、シーズ・ニーズの会話が推進されることで、ものづくりの新たな付加価値の向上と研究開発による学術の進展が同時に進行することが期待できます。多くの方に、東海支部の設立の件をご相談したところ、ものづくりの盛んな当該地区にいまだ支部がないことを不思議がる声が多く、同時にぜひとも支部を設立すべきとの意見をいただき、中には当学会の存在を知り、さっそく会員となっていたいただいた個人・企業もいらっしゃいます。既に、産学官の有志が連携し、支部の体制や活動内容を議論しており、その検討回数も既に20回に達しております。

以上のような背景を鑑みて、学会の趣旨に沿って地域に根ざした学術・技術交流を行うことで学術の発展に貢献し、さらには学問に裏付けられた原理原則に基づいた研究開発ができる人材育成をもはかるべく、東海地区の4県に居住あるいは勤務するプラスチック成形加工学会員を対象に、プラスチック成形加工学会の東海支部を設立致します。

対象地域：

静岡県、愛知県、岐阜県、三重県

発起人 61名（発起人リストをご参照ください）

プラスチック成形加工学会東海支部 設立発起人リスト

氏名	所属	氏名	所属
※伊崎 健晴	三井化学	岡部 沙也佳	(株)デンソー
松岡 武司	トヨタ自動車(株)	馬場 教揮	三菱自動車工業(株)
岡本 正己	豊田工業大学	※古橋 洋	(株)デンソー
尾崎 清博	小島プレス工業(株)	杉山 聡	(株)デンソー
※小山 弘	トヨタ紡織(株)	前田 浩	トヨタ車体(株)
仙石 武広	(株)デンソー	藤井 健太	トヨタ紡織(株)
浅野 圭吾	(株)デンソー	嶋村 亜佑子	トヨタ車体(株)
茅野 久	(株)デンソー	早川 伸哉	名古屋工業大学
田中 清文	三重金属工業(株)	後藤 昌巳	(株)デンソー
石川 健	三菱化学(株)	西 芳夫	ポリプラスチックス(株)
岩田 修一	名古屋工業大学	※小池 貴史	(株)村上開明堂
石榑 芳直	岐阜県庁	高島 徹	三菱化学(株)
中山 有希	テクノハマ(株)	黒田 裕也	太陽化学(株)
祐岡 輝明	北川工業(株)	江藤 友昭	(株)トヨタプロダクションエンジニアリング
荒井 毅	(株)デンソー	※一ノ瀬 則世	(株)JSOL
※榎本 和城	名城大学	青木 誠	トヨタ自動車(株)
細川 淳多	岐阜プラスチック工業(株)	※秋田 直幸	(株)デンソー
原田 征	名古屋市工業研究所	山田 和慶	豊田合成(株)
小長谷 重次	名古屋大学	※西郷 栄人	豊田合成(株)
藤戸 梨里	トヨタ紡織(株)	※飯田 浩史	名古屋市工業研究所
平野 幸治	名古屋市工業研究所	※村田 真伸	名古屋市工業研究所
池田 利正	(株)小糸製作所	※島村 佳伸	静岡大学
※高原 忠良	トヨタ自動車(株)	※木村 浩	岐阜大学
井ノ山 達也	関東自動車工業(株)	※三輪 實	岐阜大学
山田 孝幸	関東自動車工業(株)	中里 和市	ヤマハ(株)
※王 志剛	岐阜大学	※川口 正美	三重大学
井上 吉弘	岐阜大学	※永田 謙二	名古屋工業大学
平澤 忠	シミズ工業(株)	石鍋 雅夫	中部大学
上野 和重	太平洋工業(株)	松下 義幸	アスモ株式会社
※才村 匡	ブラザー工業(株)	松下 悟	アスモ株式会社
		神谷 智治	シミズ工業(株)

※ 設立準備検討の有志会メンバー

東海支部 初期役員

- 支部長 : 三輪 實 (岐阜大学)
- 副支部長 : 王 志剛 (岐阜大学)
高原 忠良 (トヨタ自動車株式会社)
- 幹事 : 飯田浩史 (名古屋市工業研究所)
木村 浩 (岐阜大学)
古橋 洋 (株式会社デンソー)
- 監事 : 野々村 千里 (東洋紡績株式会社)

9月21日(水)に開催された東海支部設立総会で承認されました。

プラスチック成形加工学会 東海支部 2011年度 支部行事予定

2011年9月21日

(社)プラスチック成形加工学会 東海支部
行事計画担当 飯田浩史(名古屋市工業研究所)
才村匡(ブラザー工業)

◆年間行事の狙い

プラスチック成形加工に関する工学的原理を身につけるために、プラスチック成形に関する講演会、成形機を使用しての実践講習会、PCによる実習つきのCAE講習会、本部と共催での技術交流会(青木固賞受賞現場見学)としてデンソー(株)の見学会を企画しております。ふるってご参加下さい。

- * 支部会員の方は、一般参加者の約1/3という極めて安価な参加費でご参加いただけます。
- * 開催時間帯は午後の後半中心として、会社業務としての聴講、早帰りでの私的自己研鑽参加のいずれにも対応できるように考慮しています。

行事名 【予定定員】 (支部員参加費)	日時	開催場所	講師	概要
最新研究動向講演会・見学会 【定員 60名】 (3000円)	11月30日(水) 13:00-16:30	岐阜大学	山懸教授 三宅教授 (岐阜大学)	樹脂加工や金型についての研究事例をご講演いただくとともに、最新の型加工機・射出成形機を備えた金型創成技術研究センターを見学します。懇親会も併催して人的交流を深めます。
成形基礎理論講習会 【定員 60名】 (3000円)	12月12日(月) または14日(水) 16:00-19:00	名城大学 名駅サテライト	伊崎様 (三井化学)	樹脂の種類とその特長、樹脂を熔融した時の流れ(レオロジー)や冷却固化の現象について学び、せん断粘度・P-v-Tといったデータから樹脂の特性を理解する素養を身につけます。この基礎理論は実際の成形加工で起こる現象とCAEとの関連を理解する橋渡しとなります。
実習付きCAE基礎講習会;応力編 【定員 30名】 (3000円)	2月 初旬 15:00-19:00	名城大学 名駅サテライト	一ノ瀬先生 (JSOL)	樹脂の構造解析のために、静応力解析の基礎を学びます。ソフトウェアとしてLS-Dynaを用い、樹脂の剛性と変形、設計時の応力集中箇所の計算などを通じて、樹脂選択や設計などに活かすことができます。PCによる実習有り。(参加人数によって、実習用PCを共用いただくことがあります)。
射出成形実践講習会 【定員 30名】 (5000円)	3月 初旬 10:00-17:00	岐阜大学 金型創成技術研究センター	窪田教授 (岐阜大学) 高原様 (トヨタ自動車)	最新の電動射出成形機を使用しての実践講習会です。実機で射出成形機の構造と機能を理解するとともに、ショットショットからの成形条件出しを行うことで、基礎理論で学んだ知識をより深めます。また、成形品重量や寸法といった簡単な計測も実践し、製品の品質管理の基礎について学びます。
青木固技術賞 技術交流会(本部と共催) 【定員 30名】 (8000円)	12月中旬	デンソー 大安製作所	榎本先生 (名城大) 秋田様 (デンソー) 高原様 (トヨタ自動車)	「自己クランプ型と工程分割によるインサート成形のハイサイクル化」で第22回青木固技術賞を受賞されたデンソー(株)の成形現場を見学いたします。

* 上記は企画調整中の内容も含まれており、今後変更される場合がありますのでご承知置きください。